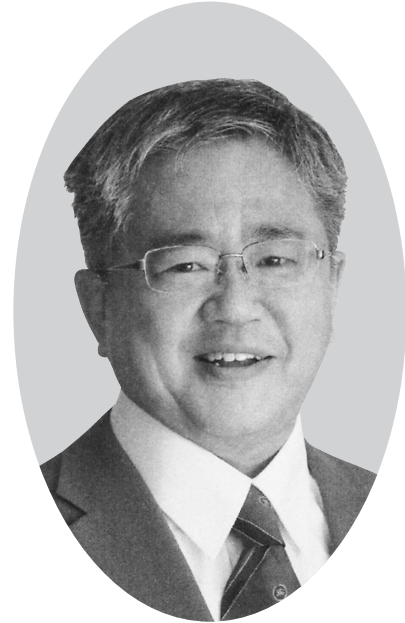


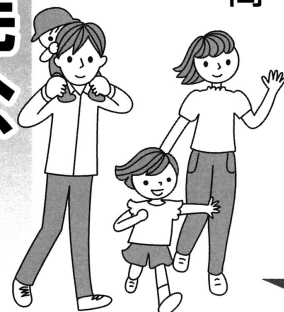
旧統一協会系団体のイベント 県は後援取消を

くらし・福祉の応援で、元気な香川を 大軍拡・憲法改悪ノ一の審判を



安心の医療・福祉を
子育てを応援し、若者の未来をひらく

- 国保料(税)1世帯1万円引き下げを県で実施
- 子ども医療費を高校卒業まで無料に、学校給食を無償化
- 高齢者などの生活の『足』となる交通手段を確保
- 保育や介護など、ケア労働の給与水準や待遇改善
- 農業でのソーラーシェアリング、省エネリフォーム助成を実施し、原発ゼロへ
- ジェンダー平等の推進、企業での男女間賃金格差の公表など、多様性が生きる地域社会へ



大型開発優先からくらし優先へ、
地方経済をまもり発展させる

不要不急の大型開発で、
大赤字はゴメンです
「29分短縮で1兆6千億円超」の四国新幹線
高規格道路・高松環状線・サンポート開発

自民・公明いなり県政の転換を

- 県独自のコロナ緊急対策を実施
- 非正規雇用の正社員化、最低賃金時給1,500円(中小企業支援とセット)をめざす
- 大規模店舗への出店規制や地元企業・商店への支援など中小企業対策の充実
- 米作農家支援、家族経営の支援など農林水産業支援

政府の大軍拡・改憲ノ一の平和の声を
香川から。国政にもものを言える県政へ

- ウクライナ侵略に乗じた『軍事費2倍』の大軍拡、「憲法9条改憲」に反対。核兵器禁止条約の批准をもとめる
- 消費税5%減税、インボイス制度廃止を働きかけ

県民がゆたかで健康となり、元気な地域経済・社会へ



なかたに浩一FB

なかたに浩一

明るい民主県政をきずく会

(日本共産党推薦)

〔プロフィール〕
日本共産党香川県委員長。61歳。
香川大学教育学部卒、元中学校講師。
明るい民主県政をきずく会常任幹事。

人生100年時代の
フロンティア県へ

香川 New 100 PLAN



いけだ
池田とよひと

61
歳

この手で守りたい

香川の未来

3つの理念

まもる

つくる

誰一人
取り残さない

① 県民100万人計画

住みたくなる香川県を目指します

- 出産時のサポート及び病児保育や求職中保育の充実などを進め、「子育てしやすい香川県」といわれる県を目指します。
- 女性の再就労の支援など女性が活躍できる環境を作ります。また、医療・福祉の充実や、障がい者が働きやすい地域を目指します。
- 経済的に困窮している児童・生徒が安心して学べるよう学校給食費の負担軽減や子ども食堂の支援などに取り組みます。

② デジタル田園都市100計画

大平元総理の提唱した「田園都市国家構想」の実現を
香川がけん引していきます

- 起業当初の資金力や信用力を補強するなどスタートアップの支援を強化します。
- 県の高品質な農林水産資源の国内外への販路拡大や、伝統的工芸品の公共施設での活用などにより、香川県の有する資源を生かした産業の振興を図ります。
- 香川県内に立地している産業の活性化や新たな企業誘致を目指します。そのため空港・港湾の充実や、さぬき浜街道・国道11号線の強化を進めます。

③ にぎわい100計画

多くの人が訪れる香川県にしていきたい

- コロナ禍前の年間1000万人の観光客数を2割アップし、年間1200万人、月間100万人を目標に政策を推進します。
- 隣県等と連携し、切れ目ない瀬戸内イベントの実施に取り組みとともに、サンポート高松地区の新たな施設整備と併せて、サンポート地区全体を歩行者が安全で快適に歩けるよう整備を進めます。
- 訪れる人が「香川県はまちがきれいで快適だ」と思っていたただけるよう、トイレの洋式化やまちの美化に取り組みます。

公式HPをぜひご覧下さい。

🔍 池田とよひと

検索

池田とよひと プロフィール

昭和36年香川県生まれ。高松市立栗林小、桜町中、香川県立高松高校を卒業し、東京大学工学部大学院を修了後、建設省(現国土交通省)に入省。全国のまちづくり、災害対応等に従事。道路局長を最後に退官後、(公社)土木学会理事を務めている。